リウマチ科

1．概要

当科は内科的治療を基本としているが、整形外科より発展したため外科的治療も行っている。当科の診療の 4 本柱について記す。2019 年は平野（1－12 月）、紀平（1－6 月）、小杉山（7－12 月）、大石（代務医師：1－12 月）で診療を行ってきた。2 名のリウマチ科常勤医を中心に、代務医師、研修中の整形外科若手医師、他院勤務医師の助けも借りて診療を行った。

① 関節リウマチ（RA）の薬物治療：MTX を中心とした古典的抗リウマチ薬を早期から使用し、効果不十分例には生物学的製剤や JAK 阻害剤を導入し関節破壊の防止に努めている。新薬の治験も行っている。

② 各種リウマチ性疾患（強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、リウマチ性多発筋痛症、SAPHO 症候群、分類不能の脊椎関節炎、RS3PE 症候群、炎症性腸疾患関連関節炎、好酸球性筋膜炎）：比較的珍しい疾患群であるが対応し、疾患ごとの適切な治療を行っている。

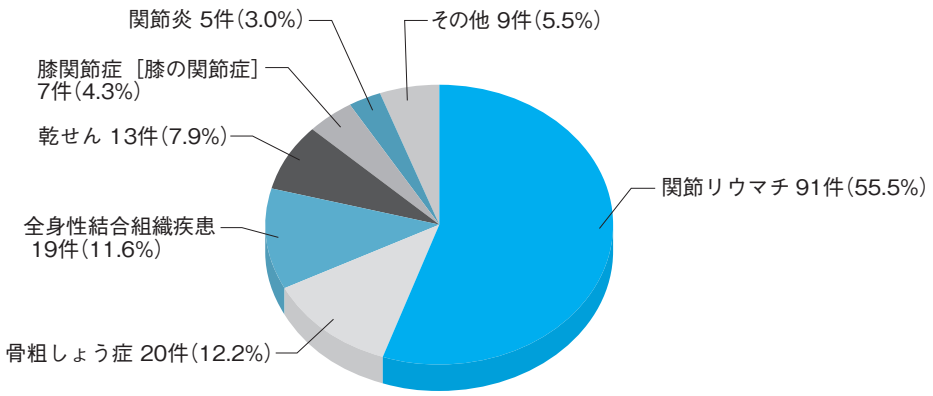
③ 骨粗鬆症の診療：古典的薬剤に加え、新規薬剤（テリパラチド、デノスマブ、ロモソズマブ）が出現し、パラダイムシフトが起こっている。骨折診療の潮流は治療から予防に向かっている。

④ RA の外科的治療：長期罹病 RA 患者には外科的治療が必要であり、薬物治療とのコンビネーションこそが最高の結果をもたらす。人工関節置換術、関節固定術、関節形成術を行っている。

（部長　平野　裕司）

2．新規登録疾患

総数：164件



3．活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	12,053人	年間外来新患者数	201人
年間入院患者数	542人	年間入院新患者数	25人

⑵ 実績

関節リウマチ患者背景		
症例数(例)		1,010
新患者数(各年)(人)		82
性別	男(人)	244
	女(人)	766
	女性率(%)	75.8
平均年齢(歳)		66.6
平均罹病期間(年)		13.7
罹病期間分類(%)	2年以下	14.1
	3年～9年	29.9
	10年以上	56.0
Stage(%)	Ⅰ	28.8
	Ⅱ	8.6
	Ⅲ	27.2
	Ⅳ	35.3
Class(%)	1	44.6
	2	43.5
	3	10.0
	4	1.9
RF陽性率(%)		76.1
ACPA陽性率(%)		78.4

関節リウマチ薬物治療	
MTX 投与者(例)	623
MTX 投与率(%)	61.7
投与例の平均 MTX 投与量(mg/w)	7.6
GST 投与者(例)	19
GST 投与率(%)	1.9
SASP 投与者(例)	186
SASP 投与率(%)	18.4
TAC 投与者(例)	165
TAC 投与率(%)	16.3
IGU 投与者(例)	144
IGU 投与率(%)	14.3
BUC 投与者(例)	13
BUC 投与率(%)	1.3
PSL 投与率(%)	14.1
投与例の平均 PSL 投与量(mg/day)	4.2
生物学的製剤経験者	406
生物学的製剤経験率(%)	40.2

手術件数	
人工膝関節全置換術(件)	7
人工膝関節単顆置換術(件)	2
人工股関節置換術(件)	0
足趾形成術(件)	3
RA 手関節手術(件)	0
足関節固定術(件)	1
その他(件)	2
合計手術件数	15

関節リウマチ患者の骨粗鬆症治療		
骨粗鬆症治療の施行(例)	あり	448
	なし	562
骨粗鬆症治療の施行率(%)		44.4
ビタミンD製剤(例)	エディロール	224
	ワークミン	52
	ロカルトロール	0
	デノタス	57
ビスホスホネート製剤(例)	アクトネル	69
	ボノテオ	150
	ボナロンゼリー	11
	ボンビバ	11
	リクラスト	33
SERM(例)	エビスタ	11
	ビビアント	8
PTH製剤(例)	フォルテオ(投与中)	3
	フォルテオ(延べ数)	80
抗 RANKL抗体(例)	プラリア (投与中)	81
	プラリア (延べ数)	114
抗スクレロスチン抗体(例)	イベニティ(投与中)	8
	イベニティ(延べ数)	8
その他(例)	グラケー	1

※通院中の患者数

関節リウマチ以外の患者の骨粗鬆症診療	
閉経後骨粗鬆症(例)	67
ステロイド性骨粗鬆症(例)	42
性腺機能不全による骨粗鬆症(例)	10
妊娠後骨粗鬆症(例)	3
男性骨粗鬆症(例)	5
計	127

関節リウマチ臨床成績		
平均CRP（mg/dl）		0.61
平均DAS28（ESR）		2.84
DAS28（ESR）疾患活動性分類（%）	High	3.7
	Moderate	26.9
	Low	26.1
	Remission	43.2
平均SDAI		4.8
SDAI疾患活動性分類（%）	High	1.2
	Moderate	9.8
	Low	35.5
	Remission	53.5
Boolean4（%）		44.4
平均mHAQ		0.324
mHAQ<0.5（%）		74.0

関節リウマチ患者の通院中断		
死亡（例）		18
連絡無く通院中断（例）		12
他医紹介	通院困難（例）	7
	関節リウマチ以外の病気の転院に伴って（例）	11
	遠方への転居（例）	8
	患者希望で紹介（転居通院困難以外）（例）	9
関節リウマチから他疾患に診断変更（例）		7
寛解などで終了（例）		0
その他・分類不能（例）		4
計		76

学会発表（医局）

＜リウマチ科＞

No.	演　題　名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	リウマチ性多発筋痛症治療におけるステロイドフリーの予測因子の検討	筆頭演者	服部　恭典	第132回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	津市	2019/4/5	
2	関節リウマチにおける生物学的製剤治療開始後10年以上経過した症例の検討	筆頭演者	紀平　大介	第63回日本リウマチ学会総会・学術集会	京都市	2019/4/15	
3	有害事象で直前の生物学的製剤が中止になった関節リウマチにおけるアバタセプトへの変更の有効性と安全性	筆頭演者	平野　裕司	第63回日本リウマチ学会総会・学術集会	京都市	2019/4/15	
4	関節リウマチの第1・第5足趾MTP関節の超音波検査におけるプローブの当て方の検討	筆頭演者	皆元　裕子	第63回日本リウマチ学会総会・学術集会	京都市	2019/4/15	
5	関節リウマチにおけるゴリムマブ治療成績－開始時疾患活動性による検討－	筆頭演者	平野　裕司	第63回日本リウマチ学会総会・学術集会	京都市	2019/4/16	
6	背景の異なる骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較－12か月治療成績－	筆頭演者	平野　裕司	第63回日本リウマチ学会総会・学術集会	京都市	2019/4/16	
7	関節リウマチにおけるイグラチモドの治療成績　－併用薬パターン別の比較－	筆頭演者	平野　裕司	第92回日本整形外科学会学術総会	横浜市	2019/5/12	
8	身体機能評価の観点からの関節リウマチにおける生物学的製剤治療の評価	筆頭演者	平野　裕司	第92回日本整形外科学会学術総会	横浜市	2019/5/12	
9	GOAL-DIRECTED TREATMENT OF OSTEOPOROSIS IN PATIENTS WITH RHEUMATOID ARTHRITIS USING DENOSUMAB FOR THREE YEARS	筆頭演者	平野　裕司	EULAR2019（欧州リウマチ学会）	Madrid/ Spain	2019/6/14	
10	EFFECTS OF BIOLOGICAL DISEASE-MODIFYING ANTI-RHEUMATIC DRUG TREATMENT ON PHYSICAL ACTIVITY,MUSCLE POWER, AGILITY AND INHIBITION OF FALL IN PATIENTS WITH RHEUMATOID ARTHRITIS	筆頭演者	平野　裕司	EULAR2019（欧州リウマチ学会）	Madrid/ Spain	2019/6/14	
11	PERSPECTIVES OF WOMEN WITH CHRONIC RHEUMATIC DISEASES ON THEIR JOURNEY TO MOTHERHOOD: COMPARISON OF SURVEYS FROM ASIA-PACIFIC AND EUROPE	共同演者	平野　裕司	EULAR2019（欧州リウマチ学会）	Madrid/ Spain	2019/6/15	
12	Goal-Directed Treatment of Osteoporosis in Patients with Rheumatoid Arthritis Using Denosumab for Three Years from Japanese Multicenter Study	筆頭演者	平野　裕司	ASBMR 2019	Orlando/ U.S.A.	2019/9/23	
13	関節リウマチにおけるイグラチモドの治療成績　～併用薬パターン別の比較～	筆頭演者	平野　裕司	第31回中部リウマチ学会	新潟市	2019/9/27	

学会発表（医局）

＜リウマチ科＞

No.	演　題　名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
14	当院における関節リウマチ患者死亡例の検討	筆頭演者	小杉山裕亘	第31回中部リウマチ学会	新潟市	2019/9/27	
15	背景の異なる骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較－12か月治療成績－	筆頭演者	平野　裕司	第31回中部リウマチ学会	新潟市	2019/9/27	
16	リウマチ性多発筋痛症治療におけるステロイドフリーの予測因子についての検討	筆頭演者	服部　恭典	第31回中部リウマチ学会	新潟市	2019/9/27	
17	メトトレキサート（MTX）投薬中に妊娠に至った関節リウマチの2例	筆頭演者	桑原悠太郎	第31回中部リウマチ学会	新潟市	2019/9/28	S
18	実臨床における治療目的を目指した関節リウマチの骨粗鬆症における薬物治療－多施設研究TBCR-BONEよりデノスマブ3年の治療成績－	筆頭演者	平野　裕司	第21回日本骨粗鬆症学会	神戸市	2019/10/12	
19	当科におけるリウマチ性多発筋痛症患者の骨粗鬆症治療と骨脆弱性骨折	筆頭演者	紀平　大介	第21回日本骨粗鬆症学会	神戸市	2019/10/13	
20	背景の異なる骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較－12か月治療成績－	筆頭演者	平野　裕司	第21回日本骨粗鬆症学会	神戸市	2019/10/13	
21	当科における高齢関節リウマチ患者の患者背景・薬物治療・疾患活動性の現状	筆頭演者	平野　裕司	第47回日本関節病学会	福岡市	2019/11/21	
22	関節リウマチにおけるアダリムマブのシリンジ製剤からペン型製剤への変更に関するアンケート調査	筆頭演者	小杉山裕亘	第34回日本臨床リウマチ学会	名古屋市	2019/11/30	
23	関節リウマチにおける先行抗TNF3製剤の長期継続率の調査－Toyohashi RA Database（TRAD）より－	筆頭演者	平野　裕司	第34回日本臨床リウマチ学会	名古屋市	2019/11/30	
24	実臨床における治療目標を目指した関節リウマチの骨粗鬆症における薬物治療－多施設研究TBCR-BONEよりデノスマブ3年の治療成績－	筆頭演者	平野　裕司	第34回日本臨床リウマチ学会	名古屋市	2019/12/1	
25	関節リウマチの合併骨粗鬆症に対するデノスマブ治療において、ビスホスホネート製剤前治療の有無により治療効果への影響の比較検討	筆頭演者	服部　恭典	第34回日本臨床リウマチ学会	名古屋市	2019/12/1	
26	関節リウマチ患者の生物学的製剤開始時におけるTKA・膝関節破壊進行のリスク因子の検討	筆頭演者	紀平　大介	第34回日本臨床リウマチ学会	名古屋市	2019/12/1	

研究会発表（医局）

＜リウマチ科＞

No.	演　　題　　名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	関節リウマチにおけるゴリムマブ治療成績～開始時疾患活動性による検討～	筆頭演者	平野　裕司	第55回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2019/4/6	
2	THA術後反復脱臼に対する dual mobility cup　を用いた人工股関節再置換術	筆頭演者	紀平　大介	第55回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2019/4/6	
3	関節リウマチにおける関節エコーの撮像方向の比較検討	筆頭演者	皆元　裕子	第55回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2019/4/6	
4	乾癬性関節炎患者へのUstekinumab（UST）の使用経験	筆頭演者	紀平　大介	三河脊椎関節炎フォーラム2019	豊橋市	2019/4/20	
5	csDMARDs投与中のRA患者における血中IL-6・TNF-α濃度の検討	筆頭演者	小杉山裕亘	第7回愛知DMARD s研究会	名古屋市	2019/10/19	
6	身体機能評価の観点からの関節リウマチにおける生物学的製剤治療の評価	筆頭演者	平野　裕司	第56回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2019/10/26	
7	背景の異なる骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較-12か月治療成績-	筆頭演者	平野　裕司	第12回三河骨粗鬆症研究会	豊橋市	2019/11/9	
8	手指関節における撮像方向の検討	筆頭演者	皆元　裕子	第6回三河関節エコー研究会	名古屋市	2019/12/14	

座長・司会（医局）

＜リウマチ科＞

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	関節リウマチ治療戦略におけるIL-6阻害療法の位置づけ	平野　裕司	ASAHI IL-6 SEMINAR	名古屋市	2019/2/8	
2	座長	リウマチ性疾患における若年女性の治療	平野　裕司	RA Dr.＆Ns. Seminar in Toyohashi	豊橋市	2019/3/2	
3	座長	脊椎関節炎診療の現状と今後	平野　裕司	三河脊椎関節炎フォーラム2019	豊橋市	2019/4/20	
4	座長	乾癬性関節炎～診断と治療戦略～	平野　裕司	Rheumatologist PsA Seminar in MIKAWA	安城市	2019/4/24	
5	座長	各施設発表	平野　裕司	第2回　RA-BETTER研究会	名古屋市	2019/5/23	
6	座長	当院におけるアクテムラ毎週投与の検討　他	平野　裕司	第10回三河地区トシリズマブ研究会	知立市	2019/5/25	
7	座長	関節リウマチの薬物治療の集大成ー患者の全ての訴えを親身に傾聴するー	平野　裕司	IL-6 RA Meeting in 三河 2nd	豊橋市	2019/6/8	
8	司会	ディスカッション	平野　裕司	Biologics Users' Forum 2019	名古屋市	2019/6/22	
9	総合司会	ゴリムマブのベストユースを考える	平野　裕司	紀尾井町Jointセミナー2019	東京都	2019/6/27	
10	座長	グループディスカッション	平野　裕司	The Consortium RA Integrity Forum 2019	神戸市	2019/6/30	
11	座長	患者さんをGOOD DAYを考えたリウマチ治療	平野　裕司	RA NAVI 東京 2019	東京都	2019/7/7	
12	座長	自己炎症性角化症の病態と最新の知見について	平野　裕司	東三河自己炎症・自己免疫疾患講演会	豊橋市	2019/7/11	
13	座長	リウマチ治療の歴史と最前線	平野　裕司	第1回東三河JAK Conference	豊橋市	2019/7/13	
14	座長	ドクターの知らない自己注射の世界～12円の秘密～　他	平野　裕司	RA Nurse Seminar	豊橋市	2019/7/20	
15	座長	実臨床におけるBaricitinibの有用性を考える～Baricitinibの処方対象患者もふまえて～	平野　裕司	Lilly RA Web Conference	豊橋市	2019/9/4	
16	座長	すべての患者様への高い治療ゴール達成を目指したRA治療戦略	平野　裕司	関節リウマチフォーラム2019 in TOYOHASHI	豊橋市	2019/9/7	
17	座長	一般演題3 RAの薬物療法： ｂDMARD(1)	平野　裕司	第31回中部リウマチ学会	新潟市	2019/9/27	
18	座長	関節リウマチ患者の包括的治療戦略におけるJAK阻害剤の役割\	平野　裕司	第２回　東三河ＪＡＫ Conference	豊橋市	2019/10/5	
19	座長	csDMARDsによる関節破壊抑制効果	平野　裕司	第7回愛知DMARDｓ研究会	名古屋市	2019/10/19	
20	座長	自己注射が変わる－30分の深いい話ー　他	平野　裕司	Simponi-AI　Webセミナー	名古屋市	2019/11/6	
21	座長	医療経済の視点から見た生物学的製剤と、当院における下肢手術の工夫	平野　裕司	第10回東三河アクテムラカンファランス	豊橋市	2019/11/16	
22	座長	高齢関節リウマチに対する治療戦略ーIL-6阻害薬の果たす役割を考えるー	平野　裕司	IL-6 RA Meeting in 三河 3rd	豊橋市	2019/11/23	

座長・司会（医局）

＜リウマチ科＞

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
23	座長	骨粗鬆症治療薬の椎体骨折に対する効果	平野　裕司	東三学術講演会	豊橋市	2019/12/4	
24	座長	臨床検査技師が活躍する!～当院の関節エコーの幕開け～　他	平野　裕司	第6回三河関節エコー研究会	名古屋市	2019/12/14	
25	座長	初診時骨びらんが進行していた場合の治療選択　他	平野　裕司	RA Expert Meeting in Nagoya	名古屋市	2019/12/19	

講　　演（医局）

＜リウマチ科＞

No.	演　　題　　名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	EULAR Recommendation Phase III	平野　裕司	三遠リウマチカンファレンス～ふだん聞けない関節リウマチの話～	浜松市	2019/1/12	
2	最近の関節リウマチ診療とその中での足診療	平野　裕司	第17回日本フットケア学会年次学術集会	名古屋市	2019/2/9	
3	関節リウマチの薬物治療ガイドライン～生物学的製剤・妊娠希望症例・安全性～	平野　裕司	愛知県病院薬剤師会東三河支部学術講演会	豊橋市	2019/2/21	
4	種々の骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療の有効性	平野　裕司	東三河膠原病セミナー2019	豊橋市	2019/2/28	
5	有害事象で直前のBIOが中止になったRAにおけるアバタセプトへの変更の有効性と安全性	平野　裕司	ESCORT Seminar 2019	豊橋市	2019/3/5	
6	骨粗鬆症の最近の話題とゾレドロン酸治療の意義	平野　裕司	静岡骨粗鬆症病診カンファレンス	静岡市	2019/3/14	
7	ゴリムマブのベストユースを考える	平野　裕司	Golimumab Expert Seminar	名古屋市	2019/3/27	
8	臨床データから考える関節リウマチにおけるIL-6阻害療法の有効利用マニュアル-2019 Update-	平野　裕司	第132回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	津市	2019/4/6	
9	関節リウマチと骨粗鬆症を考える	平野　裕司	関節リウマチと骨粗鬆症を考える会	大阪市	2019/4/13	
10	関節リウマチ薬物治療における治療継続率の意義－エタネルセプト再考－	平野　裕司	第63回日本リウマチ学会総会・学術集会	京都市	2019/4/15	
11	骨粗鬆症の最近の話題とビスホスホネート治医療の意義	平野　裕司	安城市医師会研修会	安城市	2019/4/23	
12	関節リウマチの患者背景より考えるイグラチモドの使いどころ－2019 update－	平野　裕司	第92回日本整形外科学会学術総会	横浜市	2019/5/10	
13	近年の関節リウマチ診療のトピックス	平野　裕司	愛知県労災指定医協会豊橋支部研修会	豊橋市	2019/5/11	
14	当科における乾癬性関節炎診療の実際	平野　裕司	関節・皮膚と免疫を考える会 in 豊橋	豊橋市	2019/5/17	
15	臨床データから考える関節リウマチにおけるIL-6阻害療法の有効利用マニュアル－2019 Update－	平野　裕司	宮崎県アクテムラ学術講演会	宮崎市	2019/5/22	
16	関節リウマチ薬物治療における和製csDMARDsのベストユースを考える	平野　裕司	第8回　石川リウマチ治療セミナー	金沢市	2019/6/1	
17	ゴリムマブのベストユースを考える	平野　裕司	紀尾井町Jointセミナー2019	東京都	2019/6/27	
18	ゴリムマブのベストユースを考える	平野　裕司	Simponi Seminar for Health Care Professional in MIKAWA	安城市	2019/7/6	
19	バリシチニブの有効性と安全性～実臨床データからbest useを考える～	平野　裕司	群馬県リウマチ治療戦略UP TO DATE	高崎市	2019/7/10	
20	呼吸器障害を考慮した関節リウマチの薬物治療法－2019年Update－	平野　裕司	リウマチWEBセミナー	豊橋市	2019/7/18	

講　　演（医局）

＜リウマチ科＞

No.	演　　題　　名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
21	『骨折の危険性が高い骨粗鬆症』を考える	平野　裕司	新しい骨粗鬆症治療を考えるin豊橋	豊橋市	2019/8/30	
22	抗TNF療法から学んだことー2019Updateー	平野　裕司	第59回　広島リウマチ研究会	広島市	2019/8/31	
23	関節リウマチにおけるアダリムマブのシリンジ製剤からペン型製剤への変更に関するアンケート調査	小杉山裕亘	関節リウマチフォーラム 2019 in TOYOHASHI	豊橋市	2019/9/7	
24	ゼルヤンツ錠 5mg特定使用成績調査（中間報告）について考える	平野　裕司	ゼルヤンツWeb講演会	静岡市	2019/9/11	
25	ゴリムマブのベストユースを考える2019	平野　裕司	Biologics User's Forum in OKAYAMA	岡山市	2019/10/4	
26	骨粗鬆症の最近の話題とビスホスホネート治療の意義ー年1回点滴投与製剤リクラストの使いどころー	平野　裕司	OSAKA Bone Care Forum	大阪市	2019/10/9	
27	関節リウマチ診療の更なる向上を目指してー治療困難例、JAK阻害剤、そして骨粗鬆症治療ー	平野　裕司	第21回日本骨粗鬆症学会	神戸市	2019/10/13	
28	関節リウマチ診療における大関節破壊抑制の意義ー2019Updateー	平野　裕司	IL-6　Active　Conference	四日市市	2019/10/24	
29	EULAR2019学会報告-新EULARレコメンデーションはどう変わるか？	平野　裕司	第18回　日本リウマチ実地医会	名古屋市	2019/11/3	
30	改めて今、MTXと抗TNF製剤を考える	平野　裕司	整形外科医による整形外科医のためのRA診療セミナー	東京都	2019/11/27	
31	高齢RA患者の骨粗鬆症の評価と対策	平野　裕司	第34回日本臨床リウマチ学会	名古屋市	2019/11/30	

論文・著書 (医局)

＜リウマチ科＞

No.	題　　名	区分	氏名	雑　　誌　　名	著者区分
1	実臨床における関節リウマチのトシリズマブ治療-併用メトトレキサートとプレドニゾロン減量・中止と大関節破壊抑制効果に注目して－	筆頭著者	平野　裕司	臨リウマチ. 2019; 31: 24.	
2	関節リウマチ合併骨粗鬆症のビスホスホネート製剤効果不十分例におけるデノスマブもしくはテリパラチド連日投与製剤への治療変更の比較検討	筆頭著者	服部　恭典	臨リウマチ. 2019; 31: 33.	
3	Predictors of denosumab efficacy in treating osteoporosis in patients with rheumatoid arthritis: a Japanese multicenter study	筆頭著者	服部　恭典	Nagoya J Med Sci. 2019; 81: 571.	
4	デノスマブによる骨粗鬆症を合併した関節リウマチ患者の治療に対するステロイドの影響～多施設登録研究（TBCR-BONE）よりステロイド併用例と非併用例における36ヵ月投与例の比較検討～	共同著者	平野　裕司	日骨粗鬆症会誌. 2019; 5: 597.	